



日本国立銀行事務扱方





日本國立銀行受務ノ扱方

凡ノ如何ナル銀行ニテモ順序規律ヲ立テ、從受
 元非ンバ其受務ノ扱方ノ善良ヲラン一ヲ欲スル
 元得ヘカラス故ヲ以テ創立ノ初メニ於テ良キ規則ヲ
 立テ而シテ漸ヘズ之ヲレテ定^定金ノ域ニ至ラレナン一
 ヲ務ムルヲ大至要トス
 此各ノ旨趣ハ其順序規律ヲ謬マラザルニ庶幾カラシ
 ト思考スル一般ノ方向ヲ定ムルニアリ然ト雖モ各銀
 行トモ其種類トモ其營業ノ廣狹トモ於テ大ニ異同アレ
 バ各ガ各記スルモノヲメ尽ク各銀行ノ旨趣ニ中ラレ
 メン一ヲ欲スルモ固ヨリ能セザルハナリ銀行ノ受務
 ヲ諸撰ニ區別スル等ノ件ニ至ラテハ尤モ然リトス何
 トイレバ銀行ノ旨ニハ二三ノ要負ラレバ全ク其事務

大正十一年四月
 侯爵邸寄贈
 馬了
 校正



ヲ扱フヲ得ヘキモノアリ
今余カ記載スル方向ハ支務繁多シテ其規律モ後ヲ
テ精密ヲ要スル本店ノ為ニスルモノ居多ナリ然レ
トモ此ニ記載スルモノ、内某々ノ件々ヲ刪正スレニ
於テハ其他ハ皆テ各銀行ニ適用スルヲ得ベシ

第二 銀行ノ支務タル其種類多シ預金ヲ受取リ貸付金
ヲナレ銀行為換手取ヲ賣リ公債証券地金銀ギヲ賣買
ス故ニ各事務ハ右其為メニ設クル局々ニ於テ扱ハザ
ル故カラズ其所用ノ帳簿ハ各局ニ備ヘザルベカラズ
而ノ其局ノ支務ヲ扱ヒ其帳簿ヲ主トル銀行役員ハ他
ノ業務ヲ扱ヒ他ノ帳簿ヲ主ルベカラズ

第三 斯ク分蓄ノ方法ヲ設クル目的ハ諸賦ヲレテ各々
一箇ノ受金ニル局トナサズ出ルニテアリ而シテ其效驗ヲ

ルヤ銘々ノ校場ヲ守ルヲ以テ役員ノ心算難ク為メニ
惑フヲ無ク專ラニ數箇ノ帳簿ト數箇ヲ支務トニ心ヲ
傾ケレムルヲ得ヘシ故ニ其支務ニ熟練スルヲ甚ク
速ニシテ熟練ノ上ハ其支務ノ扱方迅速ニ大且ツ過誤
少ナルベシ其他此ノ業方法ノ優美トスベキハ各賦互
ニ其支務ノ照査トナルニテアリ

○若シ役員ノ内其賦ノ支務ト慣用トニ於テ全ク熟知
スルニ至ルモノアラバ轉レテ他局ノ支務ヲ扱ハシム
ベシ之レ漸次ニ全銀行ノ支務ニ熟セレメンガ為メナ
リ

第四 若シ各賦ニ於テ數人ノ役員アラバ其中ノ一人ヲ
以テ長トシ其賦中ノ支務扱方并ニ下役ノ監視ヲノ責
ヲ其人ニ負ハシムベシ

第五 諸抵長ノ級ハ直チニ計美方ニ次ニ置キ其抵リノ扱方ニ付テハ計美方ニ答フベカラレムベシ(即チ責任)又ハ計美方ヲノ其尙中ノ規律規則、帖簿ノ整頓等ニ付テ頭取支配人ニ答フベカラレムベシ

第六 左ニ記スルモノハ區別スベキ各抵ト并ニ之ニ屬スベキ帖簿トナリ

○第一 出納抵

- 第一 收納帖
- 第二 仕掛帖
- 第三 御用預金出納帖(御用保護預)
- 第四 紙有高帖
- 第五 本社紙幣交換記入帖
- 第六 紙幣記入帳
- 第七 金銀有高帳

○第二 御用預金抵

- 第一 御用預金元帳(御用保護預)
- 第二 御用預金差列帳
- 第三 御用振出手形記入帳

○第三 預金抵

- 第一 御預金元帖(御用当坐預金)
- 第二 日差列帖
- 第三 当座預金元帖
- 第四 日差引帖
- 第五 定期預金受取証記入帖
- 第六 別段預金元帖
- 第七 振出手形記入帖
- 第八 仕掛手形記入帳

○第四 貸付掛

第一 貸付金記入帳

第二 日元帖

第三 日差引帳

第四 期限過貸付金記入帳

第五 日差引帳

第六 当所割引手形記入帳

第七 地方割引手形記入帳

第八 割引手形元帳

第九 日差引帳

第十 預手形記入帳

第十一 代金取手形記入帳

○第五 支店掛

第一 各支店元帳

第二 支店越帳差引或高帖

第三 他店元帖

第四 為換手形記入帳

第五 地方切手記入帳

○第六 公債掛 地金銀掛

第一 公債証券賣買帳

第二 公債証券賣買帳

第三 商業^出帳

第四 地金銀賣買帳

第五 外國貨幣賣買帳

○第七 株金掛

第一 株式勘定元帳

- 第一 株式讓渡記入帳
- 第二 株式有高帳
- 第三 割賦金記載帳
- 第四 株主手記姓名録
- 第五 名代人姓名録
- 第六 〇第八 書記方
- 第七 諸証券保護預帳
- 第八 抵当品記入帳
- 第九 発行紙幣記入帳
- 第十 〇第九 計算式
- 第十一 惣勘定元帳
- 第十二 惣勘定差引残高帳
- 第十三 内記帳

- 第四 増補日記帳
- 第五 日給帳
- 第六 損失勘定帳
- 第七 公債証券買買帳
- 第八 各株式に於テハ惣テ其支務ヲ明細ニ記録スト雖モ
未段ノ一紙兩テ計算式ハ之ト殊ナリ計算式ハ明細ノ
式ニ非スノ惣管ノ式ナレバ各株式ノ支務ヲ明細ニ登記
セズノ短簡ニシ且ツ総名ニテ登記スベシ〇計算式ヲ
設クルハ其趣意ニテ其一ハ惣体ノ支務ヲ知ル為メ
ニシ其一ハ諸株式ノ照査ヲナス為メナリ
- 第九 計算式ハ此ノ諸株式計算ヲ照査スルノ地位ニ居ル
故其式ノ諸役人ハ此ノ式ノ支務ニ関係セナレバ若
シ能クナラハ就中金銀ノ支ニ関係スルヲ戒ムルニ

第九 銀行ノ支業隆盛ニシテ諸域ハ繁劇ニ至ルハ人々
所屬ノ簿冊ハ悉皆緊要キトシ事務未タ繁盛ニ至ラ
ズレテ若シ簿冊ニ記入スベキ支務ナキハ或ハ甚ク僅
々ノモノナレバ凡テ總テ此等ノ簿冊ヲ用ヒサルモ差
支ナキトス及令ハ或ハ銀行ニテハ尤ノ簿冊ハ不用ノ
モノナリ

割引手形記入帖

商業元出入帖

右ノ二冊ト其他ノ簿冊ハ記入スベキ支務起ラサルヨリ
不用トナリ

貸附金元帖

貸附金差出帖

右ノ如キ簿冊ニ記入スベキ支務甚ク僅クナルヨリ不用
屬スルトナリト体無用ノ簿冊ハ用ハカルニ如カズ故
ニ成式簿冊ノ負数ヲ少ナクシテ緊要ノモノヲ不残備ヘ
ルハ肝要ノトナリ

第十 新規ノ簿記法ハ銀行ノ請取引ヲ記載スルニ充分
適當シタルモノナレハ旧式ノ諸簿冊ハ漸々ニ廢止
スベシ

第十一 通信往復ハ凡テ別ニ一紙ヲ設ケテ執掌セシム
ルトナリ(若シ此事務繁劇ナレハ)又ハ或ハ紙ノ一紙ノ
後人ニ憑務セシムルトナリ而レテ孰レモ左ノ規則ヲ
守ルベシ

- 第一 差出シタル借前ノ正寫ヲ貯ヘ置クベシ
- 第二 受取タル借前ハ悉皆打日ノ順序ニ從テ貯ヘ置

第三 若シ受取、（？）差出シタル有翁、（？）若シタケ
ハ入用ノ時容易ク看出レ得ン為ノイロハ目
録ヲ製スベシ

外國銀行ノ或ル本店ニ據テ通信注渡ノ支務ヲ株券扱ニ
掌執セシムルヲ便利トスル所アリ如何トアレハ其扱ノ
本務ハ屢々閑暇アレハナリ

出店トノ通信注渡ハ出店扱ニ掌執セハ恐クハ利益アラ
シ然レモ其他ノ通信ハ悉ク注渡扱ニ委托スベ
シ

第十二 銀行文具ヲ注意スルハ甚ク肝要ノナリ故ニ
一役人ヲレテ掌トラレムベシ而シテ役等ノ職掌
トスル所ハ此等ノ文具ハ分節ニ許ニアル浪用

サレタルヤ或ニ盗竊サレタルヤ又タ預リ証券派出手
形等ノ如キ弊害ナル者ハ無難ニ貯ヘラル、ヤニ注意
スルナリ

諸出店ノ要ムル簿冊ノ式林ハ簿冊ト同様ニ本店ヨリ得
ベシモノコレヲ又タ一様ナラサル可ラナルナリ各出店
其ノ簿冊ノ式体ノ異ニレ文具ヲ殊ニスルハ甚ク宜カラ
ナルナリ

預リ証券英ニ切手等ノ如キ各種ノ手許ニアル者ヲ記載
スル一帖ヲ備ヘサル可ク最モ計善方ハ折此ボノ手
許有高ヲ検査シ此帖簿ニ符合スルヤ否ヲ規ルベシ

第十一 銀行ノ簿冊ニ關係レノ左ノ規則ヲ守ルベシ
第一 毎日支務完結ノ後諸冊ヲ監室ニ藏メテ火ノ
難ヲ避クルベシ

第二 凡テノ簿冊ハ明亮ナル羅馬ノ数字ヲ以テ背封

ニ番号ヲ記スル各帖ノ初卷ハ一号ニ卷ハ二

号ナリ其他皆之ニ準テ旧冊ハ紙片ヲ貼附シテ

之ニ番号ヲ記スル可ナリト虽将来新規ノ簿冊

ハ製本師ニ依テ番号ヲ直テ印刷スベシ又夕

年ニ新規ノ各簿冊ヲ要スルヲアレバ製本師ハ

又夕年号ヲ印スベシ

第三 内種ノ簿冊ハ年月法ヲ以テ見出サレ、様ニ

スベシ

第四 各簿冊ハ別幣寮ヨリ交付シタル雛形ニ従フベ

シ如何トナレハ各銀行内レ簿冊ノ式体ヲ異ニ

スレハ検査役ハ甚々困難スレハナリ

第五 旧簿冊ヲ蓄積セシメ一昏車ヲ設クベシ而シ

テ之ニ藏シ、簿冊ハ番号順子ニ従

ヒテ順列スベシ

第六 凡ユル簿冊ヲ製スルニハ使用中摩耗ノ弊ナリ

レテ取直ノヤモ又夕取傷レテアラサル様充分

堅牢ニスベシ

第七 直線ハ墨計ヲ要スル場合ヲ除クノ外凡テ紅計

ヲ以テ畫クベシ又夕金額桁面ノ横線是ニ直線

ハ談藍計ヲ用ユベシ

第八 数字ハ墨計ヲ用ユベシ唯夕損益勘定帖ニ

紅計ヲ要スル此処ニテハ借方ノ桁面ニ於テ貸方

ノ金額ヲ須ハレ貸方ノ桁面ニ於テ借方ノ金額

ヲ示スルナリ

第九 若シ簿冊ニ談記ヲナムトキ之ヲ改正スルニハ

談記

削り去ルベカラズ直レテ鑿筆ヲ以テ之ヲ抹レ
テ其傍ニ正シスベシ

第十

時日ヲ追テ記載セラルベキ諸簿冊ハ敢テ其枚
数ヲ記スルヲ要セズトモ此ノ諸簿冊ニ枚数ヲ
記スルハ便利ナリ

第十一

諸勘定ノ差引高心記入帖ニ記キ込ムモノ非
ス一体記入帖ハ凡テ精細ノ一ヲ記載スルモノ
ナリ然レモ勘定元帖ハ差引ヲ顯ハス為メ製セラレ
タル簿冊ナリ然レモ記入帖ハ總勘定元帖ト付
合ニシヤヲ辨認スル一時ニ要用ノ要アリ如此
場合ニ於テハ右記入帖ニ於テ未ク仕立ハレカ
ル口々一拾七出レ之ヲ紙片ニ記レテ加算
スベシ然レモハ其和ハ必ス總勘定元帖ノ其勘

定ノ差引或高ニ突合ワレ右レ突合ハレバ
記入帖ニ誤リアラサレハ總勘定元帖ニ誤リア
ルモノナリ

第十二

諸元帖ノ諸勘定ハイロハ順ヲ以テ排列スベシ
然レイロハノ字数ハ餘リ字多ナルニ付キ英
語ノエビレヲ用エルノ便利適當ナルニ如カサ
ラン又ノ新規ノ勘定ヲ附込ニ或ハ既ニ開設レ
タル勘定ヲ送越ビタガ各字ノ未葉ニ於テ別ニ
四五枚ノ空白ナル紙ヲ餘スベシ最モ英語ノエ
ビレ順ニ從テ諸勘定ヲ排列セサル可ラストノ
規則アラバトモ此余ノ良法ト思フ所ナリ然レ
トモ提勘定元帖ノ諸勘定ハ同レク差引或高帖
ニ記載レテ順序ヲ以テ排列セサル可クナル

元ノナリ

第十三 元帖差列残高帖。於テ亦夕新規ノ諸勘定ノ記
入レ得ン為ノイロハ各部ニ於テ数個ノ空白十
ル折面ヲ餘スベシ

第十四

証昏ニ関係シズ左ノ規則ヲ守ルベシ
第一 証昏類ハ序列ニ便ナランガ為ノ一同一ノ大小
ニ製スベシ為替手形預金請取昏ノ如キモ同一
ノ形状ニ作ルヲ便ナリトス

第二

手形ノ江拂ヘルモノハ之ヲ発行セシ支店ニ度
スベシ、フズ宜レク江拂ヘル支店ニ於テ謹昏類
ト共ニ保守スベシ

第三

預証昏振出手形ノ類モ江拂ヒレ後ハ之ヲ其白
紙ト共ニ製シ、一カズ宜レシノ証昏類ト共ニ保

守スベシ

第四

日々營業完結ノ後テ証昏類ハ順序ヲ乱メザス
一束ニ束子置クベシ

第五

翼刺ニ至リ右証昏類ハ凡テ支配人ノ許ニ差出
シ其検閲ヲ受クベシ

第六

日々ノ証昏ハ別々ニ束子日ノ順ニテ列ヘ置
クベシ

第七

月々ノ證昏ハ月ノ順ニテ序列シ年号ヲ記シ
水箱ノ内ニ入テ置クベシ

第八

一人ノ役負ヲ撰ニテ證昏ヲ管守セシメ其順序
ノ乱レザル旨ヤ其内ニ失セシモノオキヤ否ヤ
ヲ督查セシメベシ

第十五

次ニ指示スル所ハ記簿ニ関シテ有要ノ支アル

ベシト思ハル

第一 諸記入帳ハシテ、ベキ諸項ハ夫々ノ護符ヨリ

ベシ決シテ地ノ昏紙ヨリ記入スベカラズ

第二 総勘定元帳〇割賦金勘定ト称スル一頂ハ数字

ヲ以テ区分スベシ所チ第一回割賦金ハ第一号

ト記シ第二回ノ割賦金ハ第二号ト記スベシ

毎半期ノ終ニハ十分ニ結算スベシ其未ダ仕掛

ハレサルモノハ仕掛未済割賦金勘定ト送ルベ

シ而シテ新割賦金勘定ハ新数字ヲ以テ冒頭ニ

冠セシムベシ

第三 総勘定差引残高記入帳〇毎月ノ最後ノ營業日

於テ総勘定元帳ノ諸項ノ総計及ヒ差引残高

ヲ此帳ニ記入スベシ而シテ之ヲ合計スルトキ

ハ其高トシテ総勘定元帳ノ全銀有高ト称スル

勘定ノ貸借両方ノ合計ト一致セザルベカラズ

其理尤ノ如シ

(甲) 諸項ノ貸借各合計ガ全銀有高勘定ノ貸借ノ諸

金高ト衝合セバ是レ則チ日記帳及ビ日締帳ノ

諸項正レテ総勘定元帳ニ写記セラレタルノ確

証ナリ

(乙) 是レ則チ総勘定元帳ノ数字ヲ偽写スルト若ク

ハ日記帳日締帳ニ於テ無理ナル合計ヲ為ス

ノ防ナク最モ肝要ナルトナリ

第四 毎月最後ノ營業日ニ於テ元ノ元帳ヲ司ル者ハ

之ヲ決算スルノ後其差引残高ノ合計ヲ総勘定

差引残高記入帳ニ記載セシメ差引高ト比較シ

勘定差引残高記帳ノ左列高ニ向テ其印取ヲ捺スベシ

第一 所用預金

第二 脚預金

第三 約定預金

第四 旧金銀紙幣引換元

第五 当座預金

第六 別段預金

第七 約定預金

第八 貸付金

第九 割引手形

第十 期限過貸付金

第十一 商業元

第十四 支店勘定
第十五 他店勘定

出納重役ハ其所司ノ簿冊ヲ按勘定差引残高記入帳ト衝キ合セタル後テ差引残高記入帳中左ノ勘定ニ捺印スベシ

第一 金貨

第二 銀貨

第三 紙幣

第四 他店切手

第五 外國貨幣

第六 他金銀

第七 本社紙幣現有高

諸差列表ハ計算方論印スベシ故ニ彼レハ其正明ナル

一、保証セザルベカズ
 右ノ如ク十分ニ正理シタル上ニテ諸簿冊ヲ支配人及ビ
 取締役ニ差出シテ其檢閲ヲ受クベシ

第五 日記帖〇日記帳ヲ記スルニハ最モ注意セザル

べカラズ此簿冊ハ端昏及ビ差レ添ノ簿冊日曾補
ヲ作類ヨリ記入スルモノニシテ決シテ也ノ簿
 昏ヨリ記入スベカラズ

第六 日記帖ニ附属スベキ簿冊類〇此等ノ昏モ端昏

証昏ヨリ記入シテ他ノ簿昏ヨリ記入スベカラ

第七 日記帖〇此昏ノ日々ノ合計ハ元ニ指示スル如

ノ日記帖ニ送り其合計ニ加入スベシ直チニ
 勘定元帳ノ金銀有勘定ニ送ルベシ

| 備 | | 日記帖 | | 貸 | |
|-------|-----------|------------|-------|-----------|------------|
| 振替勘定 | 現金入 | 総計 | 振替勘定 | 現金拂 | 総計 |
| 5.000 | 2.441 70 | 11.74 70 | 5.000 | 8973 139 | 13.743 139 |
| 日記帖合計 | | 5.471 25 | 日記帖合計 | | 5.471 25 |
| | 5.741 70 | 10.732 90 | | 8973 77 | 19.735 04 |
| 第六期差引 | 71,870 50 | 71,870 50 | 第六期差引 | 87,868 41 | 87,868 41 |
| | 18812 20 | 107,303 75 | | 20812 20 | 107,303 75 |

第八

当座預金元帳〇切手ニ印刷セルハ是は等ノ文
字ハ之ヲ把握スルハ勘定ノ冒頭ニ記スベシ
元帳記入役等切手ヲ仕拂フニ当テ一々切手帳
記入帳ヲ調ベズシテ切手ヲ見分ル便ナリ
若シ通帳ヲ作リ得意先ニ附子スルニ於テハ
如キ符号ヲ元帳中其人ノ勘定ノ片端ニ附
記シ置ノベシ

若シ当座預金利息ヲ許スニ於テハ毎半季ノ末
日ニ得意先ノ貸金ノ轉記スベシ

若シ得意先ニ於テ十分ノ預金ナキニ切手ヲ振
出シ仕払ヲ望ムニ於テハ其事由ヲ小冊子ニ認
メ切手ハ共ニ支配人ニ送ルベシ小冊子ニハ其
人ノ差引残高ト切手ハ金高トヲ記スベシ若シ

支配人其切手ノ仕払ヲ許容スルニ於テハ切手
及ビ小冊子ニ調印シメ当務ノ元帳記入役ニ送
附セレムベシ

第九 当坐預金元帳差引帖

当坐預金元帳中成方借方ノ各種勘定ヲ合算シ之ヲ總勘定元帳中当坐預金勘定ノ成方借方ノ加算ト勿論符合スルモノナレハ之ト比較レ毎月一度此簿冊へ記入スベシ如新キ方法ヲ以テスルニハ当坐預金元帳ノ金高加算差引勘定ノ数字ヲ昏キ換ヘントスルカ如キ其計ヲ防クト良策ナリトス

毎日此簿冊ノ差引勘定ヲ為スハ無用ニレテ一週ニ一度為セハ充分ナリトス

第十 株式勘定元帖

毎半期ノ収尾ニ此元帖ト株式有高帖并割賦記載トヲ符合セシメシメカ為ノ毎半期ニ一毎宛此元帖ヲ結算スベシ



第十六 貸借ノ端昏ハ各種ノ色ノ紙ハ刷印スベシ

第十七 計算掛ニ毎日日記帳ハ増補日記帳ト證昏トヲ比較シ又日締帖ト支店勘定トヲ比較スベシ

又計算掛ハ古簿冊ノ加算ヲ突合レ誤謬トヤク否ヲ督察スベキ

又會計方ハ属没ノ輔佐ヲ以テ對シノ事務ヲ左ノ諸簿冊ト比較シ而シテ属官ハ會計方ニ對シ摘要ヲ讀ミ上ケ此

摘要符合セハ會計方之ニ記号ヲ符シ若シ符合セザルハ之ヲ改正スベキ

擔当ノ簿冊 属官擔当ノ簿冊

總勘定元帳 日記帖

日記帖

収納帖

仕掛帳

濟用預金出納帖

御用振出手形記入帖

定期預金請取昏記入帖

振出手形記入帖

別段預金元帖

貸附金記入帳

期限過貸付金記入帳

府内割引手形記入帖

府外割引手形記入帖

預手形記入帖

代金取立手形記入帖

地店元帳

日記帖

然レトス毎半期、^終尾ニ銀行ノ資産ヲ悉ク検査スルハ
終テ重役ノ責任ナルベシ

第十九 総テ支店ノ規則ヲ定セシメントスルハ本店
ヨリシテ検査役ヲ派出シ支店ニテ本店ノ規則ヲ尊奉
スルヤ否ヲ検査セシムベシ

尚ホ此検査役ニ委任スヘキ緊要ノ職務尤ノ如シ

第一 銀行ノ資産ヲ精密ニ検査シ而シテ之ヲ諸簿冊
ト比較シ若シ資産不確定ナルハ直テ右ノ
支ト本店ニ通知スベシ

第二 銀行ノ取扱ヒ向ハ真正ナルカ又本店ノ規則ヲ
尊奉セルカ否ヲ検査スベシ

第三 銀行ノ金庫ハ堅牢ニシテ盗難火災ノ患ヒナ
ルベキカ又銀行ノ簿冊ハ毎夜該庫ニ藏ムベシ

カ否ヲ検査スベシ

第四 各支店ノ検査済ニ次第本店ニ其^報数告ヲ差出ス
ハレ

第五 貨幣ノ収納方兼江辨方ハ規則通り取扱フベシ令
マ九^其扱方ノ二ヲ記スベシ

第一則 当坐預取扱方ノ事

第一 得意先ハ貨幣兼通帖ハ端合ヲ添ヘテ改方ニ差
出スベシ

第二 改方ハ貨幣ヲ検査シ而シテ之ニ端合兼通帖ヲ
添ヘテ収納方ニ差出ベシ

第三 収納方ハ貨幣ヲ算当レテ之ヲ所司ノ簿冊ニ記
入レ而シテ端合ニ記名シ然ル后テ端合兼通帖
ヲ当坐預金充帳取扱成ニ差出スベシ

第四 当坐預金元帖ノ取扱方ハ先ツ右ノ金額ヲ所用
ノ元帖ハ記入レ次ニ通帖ハ記入レ而レテ受付
ノ手ヲ經テ得意先ハ通帖ヲ差戻レ然レ后チ端
昏ヲ串ハ貫ニ置クベシ

第五 増補日記帖ノ取扱方ハ此端昏ヲ取りテ所用ノ
簿冊ハ記入スベシ

第二則 為替手形取扱ノ要

第一 得意先ハ端昏ヲ記載シテ債幣ト共ニ之ヲ改方
ハ差出スベシ

第二 改方ハ債幣ヲ検査シ然ル后チ端昏ト共ニ之ヲ
収納方ハ差出スベシ

第三 収納方ハ債幣ヲ算當シテ之ヲ所司ノ簿冊ハ記
入レ端昏ハ記名シ然ル后チ此端昏ヲ為替紙ハ

差出スベシ

第四 甲ノ役員ハ為替手形ヲ記載レ而レテ之ヲ記入
帖ハ記入レ又乙ノ役員ハ此為換手形并其記入
法ヲ突合シテ之ニ調印シ然ル后チ之ヲ記入帖

添ハテ會計方并支配人ハ差出スベシ而シ會
計方并支配人ハ之ニ記名シ又記入帖ハ調印ス
ベシ

第五 此為替手形ハ受付ノ手ヲ經テ得意先ハ渡シ端
昏ハ日記帖ノ傍ラニ在ル串ハ挿ニ置クベシ

第三則 貸附金内拂ノ事

第一 貸附金ノ内拂ヲ為ス者ハ端昏ヲ作りテ貨幣ト
共ニ之ヲ改方ヘ相渡スヘシ

第二 改方ハ其貨幣ヲ検査シ而シテ其貨幣元ニ端昏
ヲ收納方ヘ相渡ス可シ

第三 收納方ハ其金數ヲ改メ之ヲ簿冊ニ登記シ而シ
其端昏ニ押印シテ之ヲ貸附局ヘ送付スヘシ

第四 貸附局ニ於テハ最初ニ負債者ノ目前ニテ貸附
金証文ヨリ其金高ヲ除キ去ルヘシ即時ニ之ヲ
貸附金元帳ヘ登記スヘシ

第五 其端昏ハ即時之ヲ日記帳ニ近キ銅線ニ串貫ス
可シ

第四則 切手ノ拂方

第一 切手ノ拂方ヲ請フ者ハ其切手ヲ仕拂方へ差出
ス可シ仕拂方ハ之ヲ検査セシ後之ヲ当座預金
元帳取扱方へ相渡ス可シ

第二 当座預金元帳取扱方ハ即時其切手ヲ全ク検査
シテ当座預金元帳へ登記シ及ヒ其切手ニ押印
シテ之ヲ仕拂方へ還付スヘシ

第三 仕拂方ハ其切手ヲ拂渡シ之ヲ仕拂帳ニ登記シ
其切手へ拂濟ノ印号ヲ記ルス可シ

第四 然ル後其切手ヲ串シ置ク可シ増補日記帳取扱
方ハ之ヲ取去ルナリ

第五則 為換手形ノ拂方
第一 為換手形ハ仕拂方へ差出ス可シ
第二 仕拂方ハ之ヲ仕拂ノ手形記入帳取扱方へ相渡

ス可シ取扱方ハ之ヲ参考シ之レニ記号ヲ附ス
可シ

第三 仕拂方ハ之ヲ拂ヒ且ツ之ヲ仕拂帳ニ登記シテ
拂濟ノ印号ヲ記ルス可シ

第四 然ル後其手形ヲ串シ置クヘシ日記帳取扱方之
ヲ取去ルナリ

第五 金庫ハ特ニ用心ヲ尽サ、ル可ラサルナ
第一 金庫ハ火災荒ニ盗賊ヲ捍クニ足ル可キ程ノ堅
固ニ造ルキナリ故ニ壁牆ハ殊ニ堅牢ニシテ厚

ク造ル可シ及大ニ上等ノ戸ヲ注意シテ用ユヘ
シ○盗賊アリ金庫ノ下ニ隧道ヲ造リ牀板ヲ抜
通リ来ルノ盗難ニ屢々逢フタルナリ故金庫
ハ掛慮シテ当ニ守護スルヘシ○土ノ粗雜形ハ

堅牢ナル牀下ヲ示セリ○甲ハ全牀ヲ蓋フノ鉄
 板ニシテ厚ク一インチノ四分ノ一ナリ○乙ハ
 花崗石ニシテ深サニフートヨリ三フートナリ
 コレ等ノ石ハ因中ノ如ク其縁面平滑ナラスレ
 テ凸凹アリ或ハ之ヲ能ク抱合可ク截ル可シ且
 煉石灰ヲ用テ之ヲ固着セシムベシ○丙ハ凝聚
 物ニシテ深サ三フートナリ○丁ハ地中ニ打込
 タル木材ニシテ長サ六フートヨリ十フートニ
 至ルナリ

甲乙丙丁



一金庫ヲ造ラントスル時若シ其位置ニ近ク地中ノ間道
 アラハ持ニ危難ノ原由トナルヤ否ヲ訊問スル丁緊要
 ナリ
 一金庫ノ門口ニハ堅固ナル鉄ノ外戸アリ及ヒ内部ニ鉄
 戸アリ益間ハ其鉄戸ヲ間置キ庫内ニ空氣ヲ通暢セシ
 ムヘシ内戸ニハ一錠外戸ニハ二錠アリ故ニ三錠アリ
 悉ク之ヲ一役負ニ付托ル可キラス一役負ハ常ニ外戸
 ノ一錠ヲ守他役負ハ外戸ノ一錠及ヒ内戸ノ一錠ヲ守
 ルナリ

斯ク順序ヲ立ツルハ三人ノ役負立會ニ非ズンバ倉庫
ヲ開クコト能ハス○倉庫ノ管鑰ヲ司ル人ハ堅実ナルヲア
ロンゼーフレニ其管鑰ヲ藏メ置クヘシ且ツ其管鑰ハ非常
ニ備ヘンガ為メ合ヒ鑰一ト組ヲ作り小包ニ入レテ封印
シ保護預トシテ他ノ銀行ニ預ケルカ又ハ地方官廳ニ預
ケ置クベシ

其他夜間倉庫ヲシテ危難ナカラシムルニハ撞々ノ
方法アレドモ夜番ヲ付ルコト尤モ通例ナリ若シ夜番
ヲ付ント欲セバ話シ時計ト称スルモノヲ得ルヲ注
トス此ノ時計ニハ器械アツテ其器械ニ繩ヲ付セリ
番人ハ毎時又ハ毎半時ニ此繩ヲ引カサルベカラズ
若シ之ヲ懈ルキハ其懈リタルコトヲ表識スル様ニ製
造シタルモノナリ

其他ノ方ハ役負ノ寢所ト倉庫ノ門是ニ拵トノ間ニ
電報ヲ設ケ倉庫ニ入ラントスルキハ直チニ役負ヲ
警醒セシムルニアリ

第廿二 欺詐預防方ハ左ノ如クスベシ

一 銀行ヨリ出スモノニシテ其所持人或ハ仕拂先ヘ
金銀ヲ仕拂ヒ抵当物ヲ渡スベキヲ約スル空文昏
類ハ其質造ヲ防ガシ為メ格段ニモ其製造ニ於テ
注意スベシ

甲紙質ヲ精良ニスベシ

乙昏類面ノ模様柄ヲ精良ニスベシ

丙紙中ニ透見ヲ作ルヘシ而モテ要用ト思考セバ

紙中ニ秘号ヲ入ルベシ

格別ニモ右ニ付テ入念ニベキモノハ為換手形振出手

形定期預金并保護預受取證等ナリ
 二右空文昏類ノ各帳ニハ印記シタル数字ヲ以テ番号
 フ背スベシ例之ハ第一ノ帳ニハ数字ノ一ヲ以テ始メ
 毎葉一ツ宛其數ヲ増加シ第二ノ帳ノ始メニ印記スル
 数字ハ第一帳ノ末葉ヨリハ一ヲ多クスルガ如クナル
 ベシ各帳一百枚ワ、ニ作ルヲ便ナリトス○印記スル
 番号ハ昏損其外ニテ実事用ヒゲルモノト雖氏皆ナ記
 入帳ニ登記スベシ而シテ右ノ如キキハ記入帳ノ金高
 ノ折ニ「廢棄」ナル詞ヲ昏スルヲ正トス然ルトキハ各
 定文書ヲ記録スルヲ得ベシ例之ハ

| 名 | 金 | 高 |
|---|-------|----|
| 屋 | 10000 | 廢棄 |
| 丸 | 500 | |

| 姓 | 番号 | 銀行 | 番数 | 記 | 日 | 月 |
|----|-----|-----|-----|---|---|----|
| 大黒 | ノ第一 | 三三三 | 第一二 | | 全 | 一月 |
| 大 | 二 | | 三 | | 全 | 全 |

三 空文昏類ノ諸帳ハ現場所用ノ外ハ之ヲ文房掛
 リニ蔵メ置クベシ

四 調印手續

甲為換手形預手形等入用ノコトアツテ其金モ既ニ
 受取リタル片ハ事務ノ掛リノ下役之ヲ昏記シ
 テ直ニ記入帳ニ登記スヘシ

乙其掛ノ長ハ其證紙ト記入帳トヲ檢閲シテ證合ニ突合セ其職掌ヲ遂ケタル徴トシテ證紙ノ上ニ記号ヲ付スベシ

丙右ノ證紙ハ記入帳ニ挿ミ端合ハ差置キ之ヲ計算掛ニ送付スベシ計算掛ノ職掌ハ證紙ト記入トヲ突合セ誤リ無キキハ證紙ト記入帳トニ記名スルニアリ

丁其手續ノ最後ハ記入帳及ヒ證紙ヲ支配人或ハ頭取ニ交スノ手續ナリ而シテ頭取及ヒ支配人ノ職分ハ證紙ノ總額ノミヲ記入帳簿ニ附込ニ總額ト引較ヘ其正誤ヲ檢査シ然シテ計算方為セシ如ク證紙并ニ記入帳ニ鈐印スルナリ此法式ニ因テ銀行ハ貨幣ヲ仕拂ヒ或ハ貨物ヲ渡ス可

都テノ證紙ヲ適切ニ記入帳ニ記載スルコトハ充分確實ニ成サレナリ

第五 銀行手形ニ記名スベキ役負ハ左ノ如シ

第一 計算方

第二 支配人或ハ頭取ナリ

計算方ハ本務ノ一ハ都テ銀行ヨリ出セシ諸證紙ヲ簿冊ニ付込ミシヤ否ニ注意スルコトナリ何シトナレハ計算方ハ其ノ精密ナルコトヲ擔當ス可レハナリ此ニ因テ觀レハ計算方ハ諸證合ニ記名スルノ責アルハ顯然タリ折モ計算方ノ記名スル趣意ハ證紙ニ其姓名ヲ記スル前已ニ此ノ證紙ヲ適切ニ記入帳ニ附込ミシコトヲ實見セシトノ記ナリ

第六 都テノ記入帳ニ於テ役負ノ信印ヲ鈐スル為メニ

數桁ヲ預メ備具スヘシ

第七 鈐印スル權ヲ有スル役負一時其職ヲ離レシ時今日ノ慣用ノ如ク己ノ信印ヲ他ノ役負ニ消ス可ラス新ニ交代セシ役負ハ自己ノ信印ヲ用ユベシ又鈐印スル權ヲ始メシ日限ト終リシ日限ヲ諸ノ支店ニ報知スベシ而シテ銀行ノ諸各月ニ信印ヲ鈐スル前預メ印鑑ヲ諸ノ支店ニ交付スベシ

第八 若シ人ヲマテ當座預リ定期預リ振出手形銀行手形貸附金等トシテ銀行ニ貨幣ヲ仕拂ヒシキニ端書ハ成ル丈ケ其人ニ手昏セシムベシ

第九 銀行ニマテ貨幣ヲ仕拂ヒシキハ其貨幣ニハ成丈ケ多人數ノ關係セザル様ニ務ムベシ

第十 貨幣ヲ收納シ或ハ其レヲ仕拂フコトニ関シテ処置

ノ詳細ナル方法ヲ得ルニ注意スベシ己ニ粗ナル処置ト細ナル処置ヲ以較セシ例ノ記セリ然レモ尚ホ此ノ貨幣ヲ收納シ或ハ仕拂フノ概例ヲ記載スヘシ

貨幣收納ノ規則

一 當座預リ定期預リ振出シ手形銀行手形貸附手形等トシテ收納スル都テノ貨幣ハ速ニ收納帳ニ消込ムヘシ端各ハ直ニ當務ノ掛ヘ交付スヘシ

二 貨幣受取ノ證紙則ケ通帳振出手形ノ如キモノハ其當務ノ掛リヨリ得意先ヘ交付スヘシ而シテ其請取ノ証紙ハ收納方ノ手ヲ經サルヘシ

三 端各ハ當務ノ掛ヨリ他ノ掛ヘ交付シ日記帳ニ消込ムベシ

貨幣仕拂ノ規則

一切手為換手形振出シ手形預リ證昏等ヲ仕拂フ前仕
拂方ハ先ツ其レヲ記入簿ト引較ヘ而シテ記入セシ
為ニ其当務ノ掛ヘ交附セサルヲ得ハ其レヲ附込ム
役負ハ其ノ面ニ己ノ名記載スベシ

二仕拂方ハ支配人或ハ計算方ノ鈐印セシニ非ラガレ
ヨリハ出銀端昏ニ貨幣ヲ仕拂フコトナカルベシ

三仕拂方ノ拂ヒシ都テノ證昏ハ「拂」ノ語ヲ具セル紙面
ヲ鑽通スル印ヲ以テ鈐印スヘシ若シ此印ヲ得ルコト

能ハザレハ三尖ノ鍍針ヲ以テ證昏ヲ串貫スベシ此
ノ処ノ目的ハ乃既ニ仕拂ヒシ證昏ヲ再ヒ詐用スル

コトヲ充分ニ防ゲハナリ

第十一 銀行ノ記入帳ハ既ニ揭示セシ方法ニ回テ引較
フヘシ
（章ヲ見）

第十二 日々ノ證昏ハ支配人ノ検査ヲ受ケシ後其レヲ

結約スルコトヲ司トル役負ニ因テ擔當サルベシ而シテ
此ノ證昏ハ能ク場所ヲ定メ順序ヲ立テ容易ニ整理サ
ル、コトヲ務ムヘシ

第十三 銀行諸役負ノ責任ハ顯然ト確定スヘシ一ノ職

分ニテモ其レヲ勉ムルノ責任ハ誰ノ擔當ナルヤ能ク
區域ヲ分チ決シテ不分明ナル可ラズ又一ノ職分ニテ
モ其レヲ勉ムル責ハ二員或ハ以上ノ役負ニ分配スヘ
カラズ必ス一員ニ委託スヘシ

第十四 銀行手形振出シ手形預リ證昏等ノ數字ニ於テ
謄詭ノ変更ヲ障礙スルノ方法ヲ取用スヘシ外國ニ於
テハ總額ヲ國語并ニ數字ヲ以テ二様ニ昏スルコトハ慣
習ナリ今日本ニ於テハ日本數字併ニ外國數字ヲ以テ

ニ 咎ヲ石ムヘキナリ此昏ニニツノ雛形ヲ附屬ス其ノ
一ハ大ナル銀行ト本局ニ適スヘキ他ノ一ハ小銀行ノ
本局ニ適スベシ

大
歳
首

